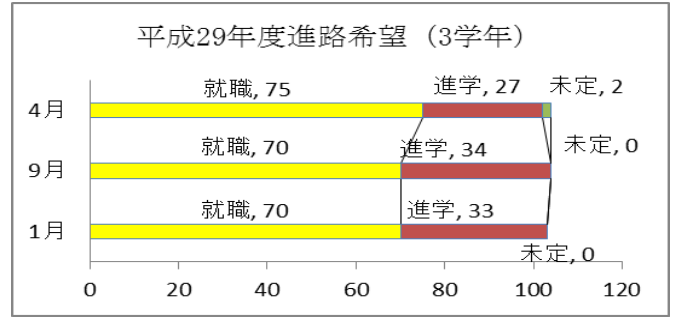


# 平成29年度 卒業生 最新進路状況(H30.2.28現在)

## 就職

(株)JFEウイング
(株)アベキ
(株)クボタ宇都宮工場
(株)システムステーション
(株)スミハツ
(株)トベ
(株)ネクスコ東日本エンジニアリング
(株)ミヤカン
(株)阿部長商店 サンマリン気仙沼ホテル観洋
(株)気仙沼商会
(株)小森コーポレーション
(株)小野寺鐵工所
(株)小野良組
(株)新和エンジンサービス
(株)東北フジパン 仙台工場
(株)片浜屋
(株)緑水亭 篝火の湯緑水亭
(株)SUBARU 群馬製作所
(株)オートショップ加藤
(株)ジャパンミート
(株)ダイニングキャスト
(株)ツルハ(ツルハドラッグ)
(株)バルポー
(株)ハウスイ
(株)協和エクシオ
(株)桜井製作所
(株)齊吉商店
(株)藤田鉄工所
(株)福島漁業
(有)宮城電子サービス
(有)新徳丸漁業
(有)正豊海運
アイリスオーヤマ (株)
アンリツインフィビス(株)
キヤノン電子(株)東京本社
トヨタ自動車東日本(株)
フエスト(株)
リック (株)
英雄海運(株)
海形水産(株)
気仙沼ほてい (株)
気仙沼漁業協同組合
共和水産 (株)
三菱ふそうトラック・バス(株)
社会福祉法人キングス・ガーデン宮城
住研工業(株)
勝山企業 (株) 仙台勝山館
大崎八幡宮
東京理化器械 (株) 宮城工場
東北発電工業 (株)
日産自動車 (株)
日通商事 (株) ロジスティクス・サポート事業部
日本電気 (株) 府中事業場
白石電気工事 (株)
畠和水産 (株)



## 公務員・自衛隊

気仙沼市職員
宮城県公立学校実習助手・寄宿舎指導員
宮城県職員
漁業調査[指導]船
陸上自衛隊

## 進学

エコール辻 東京
デジタルアーツ仙台
気仙沼高等技術専門学校
気仙沼市医師会付属准看護学校
宮城県気仙沼向洋高等学校
宮城調理製菓専門学校
修紅短期大学
神奈川工科大学
盛岡大学
聖和学園短期大学
石巻専修大学
仙台リゾート&スポーツ専門学校
仙台医健専門学校
仙台工科専門学校
仙台青葉学院短期大学
東北職業能力開発大学校
東北生活文化大学
東北電子専門学校
日本工学院専門学校
日本工業大学
日本電子専門学校

### 編集後記

短い間でしたが、進路通信をご愛読くださりありがとうございます。少しでもこの進路通信が皆さんの支えになっていたなら嬉しい限りです。とはいえ、おそらく配付されたらすぐにファイルに挟んだり、家に持って帰らずに捨てたという人もいたことでしょう。特に、この編集後記は目立たないので、気に留めない人もいますはず。小さなスペースですが、最後に卒業する皆さんへの感謝の言葉で最後の編集後記にしたいと思います。

2年間ありがとう！社会に出ると辛いこともたくさん有ると思いますが、体に気をつけてお元気で。

金田 沙織

卒業  
おめでとう!

LIGHT HOUSE

気仙沼向洋高等学校 進路指導部

※light houseとは「灯台」を意味します。向洋生の未来(進路)を照らし、航海(将来)が順調に進む「道標」となりますように。



## 見えないバリアーがなくなったら・・・

進路指導部長 岸 貴司

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、今号まで進路通信「LIGHTHOUSE」をお読みいただいた保護者の皆様、進路指導へのご協力心より感謝いたします。高校卒業後、社会に旅立つお子さんの姿はまた感慨深いものがあることと思われれます。誠にありがとうございます。

さて、3年生の皆さんには最後に『見えないバリアー』の話を書かせていただきます。これは今まで3年生担任を4～5回もした私が必ず生徒に卒業式直前に話していた内容です。

3年生の皆さんは今まで『見えないバリアー』に守られていました。見えないから気付かなかったかもしれませんが、それはいつも皆さんを守り、支え、助けてくれていました。その『見えないバリアー』とは保護者や家族のことであり、気仙沼向洋高校、学校や担任や先生のことでもあり、広く見ると日本の社会全体でもありました。『見えないバリアー』は何か問題やトラブルが発生したとき、皆さんを守るだけでなく、解決できるように導いてくれました。

高校時代に体調不良になったり、寝坊して遅刻をしたりしたらどうだったでしょうか。欠席の場合は皆さんの保護者が学校に欠席連絡をしてくれたでしょう。病院に連れて行ってくれたことでしょう。寝坊して遅刻したら、進路室で遅刻指導を受け、注意をされて終わりだったでしょう。しかし、就職したら自分で連絡をし、「年次有給休暇」(日数が限られていることは勉強しましたよね)を取得して休む、通院することになります。もちろん寝坊なんて許されません。大事な書類を忘れる、レポートや課題の提出が遅れたらどうだったでしょうか。先生から注意され、持ってくるまで何回も指導されていたでしょう。しかし、就職・進学したら忘れることは許されません。全て自己責任とされます。

こんな先輩がいました。事務職に就職した先輩の話です。お客様の報告をまとめ、上司に提出する報告書が遅れてしまい、自分だけでなく、その部署全体に迷惑を掛けてしまいました。その日上司だけでなく職場の先輩からも強く叱られました。その先輩は落ち込みましたが、次からそのようなミスをしないよう気を付けて働くようになりました。こんな先輩がいました。専門学校に進学した先輩の話です。家庭の経済状況から進学してすぐに深夜のコンビニでアルバイトを始めました。そのため朝なかなか起きられず、つい何度も遅刻をするようになりました。ある朝、また寝坊をし、気が付くと午後になっていました。ふと自分のスマホを見ると学校から着信がかなり入っています。恐る恐る学校に行くと、大事な実習の授業を欠席したため、「進級できない、落第となる状況だ」と言われました。そのため残念ながら進路変更せざるを得なくなりました。

どちらのケースも高校時代までなら『見えないバリアー』が守ってくれたケースです。しかし、高校を卒業し、自立した社会人となるということは全て自己責任となります。つまり、自分の行動・態度・話したこと・仕事内容・学習内容・決めたことなど全てに責任を取らないといけません。それが社会人なのです。もちろん一度の失敗で人生が変わることはありません。大切なのは失敗を反省し、責任を持って次の行動に生かす力があるか、ないかです。就職した前者の先輩はその力があり、次の仕事に生かすことができましたが、後者の先輩は「つい～～～なんとなく～～」とズルズルと甘えてしまい、生かすことができなかったのです。社会に出ると嫌なこと・困ること・大変なことなんてたくさんあります。『見えないバリアー』がないのだから、全て自分で受け止め、責任を持って解決していかなくてははいけません。そのような時こそぜひ向洋高校で過ごした3年間を振り返って下さい。向洋高校で学んだこと、経験したこと、友達と過ごした日々、部活で流した汗、それら必ず皆さんを支え、助けてくれます。向洋高校の3年間がこれからの人生の土台となるのです。それこそ歴史と伝統ある“向洋高校ブランド”なのです。

就職する皆さん、これからも先生方は企業開拓と定着指導を兼ねて企業訪問をします。進学する皆さん、どの学校も本校卒業生の学校生活の様子を教えてください。進路指導とは進路を決めて、卒業して終わりではなく、今後つながります。“向洋高校ブランド”を胸に、皆さんが社会人として活躍してくれることを強く期待しています。卒業おめでとうございます。

# 「格差固定」



三学年主任 笹山宏司

今年度の進路通信01号で「格差社会」について書かせていただきました。卒業生の皆様に餞の言葉としては世知辛い話ですが、この3年間は、いつも皆様の行く末を案じ、また一抹の不安をぬぐい去れずに過ごして参りましたので、その理由について、私が今思う皆様の祖国の現状について、書かせていただきます。

日本は皆様が生まれる10年ほど前にバブルがはじけ、企業の経営破綻、倒産、生活保護、貧困による餓死、困窮による自死などのニュースが多く取りざたされるようになり、これが本当に我々の生きている国なのかと悲しくなるような時代になりました。経済成長率の伸び悩みとデフレ色の世の中に、皆様は生を受け、今日まで生きてきたのです。そして皆様が物心つく頃には、あの震災がありました。日本社会とその経済基盤は、これで息の根を止められたのかと思うような日々を過ごしましたが、ここ数年、ようやく景気回復の兆しが見えてきたかのような錯覚を覚えています。

しかし、世界中で格差の進行は止まらず、貧困に喘ぐ人の絶対数が増えています。また我が国でも格差の拡大が止まりません。その理由については進路通信01号で書きましたので、ここでは繰り返しません。そして現在、その「格差の固定」が始まっています。皆様にはこの現実を何とかしたいという崇高なお気持ちがあることと思いますが、個人が期待するだけでは世の中は変わらず、人を氣遣う前に自分自身を見直すことや、生活を改善することなど、やらねばならぬことも多くございます。もし今はそこまでお考えにならずとも、皆様が社会に出られれば、いずれそのような時が来るかも知れません。身動きの取れぬ状況から抜け出さねば何も出来ない、という悲しい現実を経験せぬ為、皆様に助言できることは、個人としての限界はありますが、努力する以外無いのです。そしてその為に多くの時間が取れたであろう高校生活は終わりを告げます。

なお、社会に出てからの勉強はご自身の意志で出来ますが、残り少ない高校生活で以上のようなことについての情報収集をしたいのであれば、以下に参考文献としての本を紹介しますので、探してみてください。皆様の知恵と工夫が皆様と我が国の未来を拓きます。お元気で。



## 【参考文献】

- \*底辺への競争—格差放置社会ニッポンの末路(朝日新書) 山田昌弘
- \*女子と貧困—乗り越え、助け合うために(かもがわ出版) 雨宮処凛
- \*格差固定—下流社会10年後調査から見える実態(光文社) 三浦 展
- \*今日、会社が倒産した—16人の企業倒産ドキュメンタリー(彩図社) 増田明利
- \*貧困のハローワーク(彩図社) 増田明利
- \*今日からワーキングプアになった—底辺労働にあえぐ34人の素顔(彩図社) 増田明利
- \*続・下流老人—一億総疲弊社会の到来(朝日新書) 藤田孝典
- \*下流老人—一億総老後崩壊の衝撃(朝日新書) 藤田孝典
- \*下流中年—一億総貧困化の行方(SB新書) 雨宮処凛ほか
- \*偽装中流—中間層からこぼれ落ちる人たち(KKベストセラーズ) 須田慎一郎
- \*最貧困女子(幻冬舎新書) 鈴木 大介
- \*生活保護—知られざる恐怖の現場(ちくま新書) 今野晴貴
- \*希望格差社会—「負け組」の絶望感が日本を引き裂く(ちくま文庫) 山田昌弘





## 科長・進路部の先生方からのメッセージ



若年者の早期離職が問題になっています。新規高卒就職者のなかで1年もしないうちに4人に1人が、3年以内に半数の人が会社を辞めて、多くの若者がフリーターやニートになっているという現実があります。

最近、辛抱や我慢という言葉は最近あまり耳にしません、時代がいかに変化しても変わらない価値のあることだと思います。「石の上にも三年」冷たい石の上にも3年座りつづければ温まる。じっと辛抱すれば必ず報われる。入社後の3年間は、これからの人生の土台を作る大切な時期です。職場での人間関係や仕事への適性等思い悩むこともあるかと思いますが、少しだけ頑張っただけ欲しいと思います。

情報海洋科 神童 修



専門高校を卒業するプライドを

「勉強してきたことは役に立つ？」という疑問を持ったことがあると思います。世の中はどんどん変わっていき、学問も古くなっていきます。しかし、役に立たないと思った知識や技術が、ある時突然リンクしたり、知識や技術ではなく、学校で学んだものの考え方なども役立つことがあります。向洋で学んだことは、基礎学力、基礎体力、専門分野、あるいは仲間づくり、とそれぞれだと思いますが、これから社会や学校で学んでいくことにリンクしたり、精神面の土台になったりすることが必ずあると思います。是非、「これからいろいろ学ぶぞ」という意欲をもって、仕事や学校において様々な分野にチャレンジして行って欲しいと思います。

産業経済科 船引 裕介



向洋高校を卒業し社会で働く皆さんへ  
挨拶をしよう

社会では挨拶ができること、礼儀のしっかりした人間であることが当たり前です。職場では同世代から目上の方が働いており、幅広い年齢層の人とコミュニケーションにより良好な人間関係を築き、一緒に仕事をしたい、仕事を教えたいと思われる人になることが大切です。そのためにも元気の良い挨拶はとても大事になります。

勉強しよう

皆さんを採用する会社では、高校生としての基礎学力や専門知識があり、これから活躍してくれると言う将来性に期待しているはずで。

勉強といっても、机に向かっての勉強だけではなく、職場の仕事を覚えることも勉強です。メモを取り、いち早く仕事を覚えよう。

機械技術科 佐藤 信之



卒業おめでとう！  
皆元気でね～  
進路指導部一同

